

歴史遺産の地盤工学研究に関する研究委員会活動報告

歴史遺産委員会幹事長 大里重人

1

歴史遺産の地盤工学研究に関する研究委員会とは?!

- ▶ 活動期間→平成28年7月～平成31年年3月（成果普及委員会として活動中）
- ▶ 総勢 40名（委員長・部会長・幹事・委員） 名簿は割愛

- ▶ 平成30年度
 - ▶ 東の軍艦島 第二海堡の秘密に迫る海上見学企画クルーズと講演会【横須賀市支援】 | 7月16日（月）
 - ▶ 「富津市が誇る東京湾要塞を見つめる歴史と未来」講演会【富津市支援】 | 10月7日（日）
 - ▶ 「人と水害 過去・現在・未来の講演会」 | 11月17日（土） **【公開資料+行事報告】⇒台風19号の被害を受けいまだにアクセスが多い**
<http://www.jgskantou.sakura.ne.jp/report/20181117.html>

- ▶ 平成29年度
 - ▶ 田谷の洞窟見学会 | 5月10日（水）
 - ▶ 第一海堡研究視察実施報告書 | 5月24日（水）
 - ▶ 歴史遺産巡検【両国界隈：地震と火災】 I | 9月2日（土） |
 - ▶ 歴史遺産巡検 II【門仲・洲崎界隈：高潮と低地災害】 | 9月30日（土）
 - ▶ 大谷石見学会報告書 | 11月16日（木）
 - ▶ 歴史遺産巡検「水と共生する志木宗岡地区」【志木界隈における荒川の水害と対応】 | 3月17日（土）

2

公告ポスターの作成と国交省・文京区の後援申請、SNS等（まちづくり・防災・歴史・考古学・火山学・土木・建築等の掲示板、FB、ツイート）を利用した事前広報・投稿募集

歴史遺産の地盤工学研究に関する

シンポジウム

日時：令和元年 10月12日 土曜日
時間：9:30(開場)～17:00
場所：中央大学駿河台記念館
東京都千代田区神田駿河台3-11-5



地図



主催：地盤工学会関東支部歴史遺産の地盤工学研究に関する研究委員会
後援：国土交通省関東地方整備局・文京区

シンポジウム・講演会プログラム

番号	開始時間	論文題目
開会挨拶	10:00～10:05	太田委員長
委員会報告	10:05～10:35	地盤部会報告
委員会報告	10:35～11:05	水害部会報告(空撮ビデオ映像による報告)
Am01	11:05～11:20	横浜市登録史跡「田谷の洞窟」の多分野統合型保存活動と地域づくり
Am02	11:20～11:35	貝山下埋の地質と3次元点群データで確認できた内部構造
Am03	11:35～11:50	関東及び周辺地域における災害石造物・伝承・祭祀施設等の調査研究と課題
Am04	11:50～12:05	近年発見された天明浅間噴火・寛保二年水害関連資料の解説と市民との連携について
講演	13:00～14:00	歴史に学ぶ、今迫りくる大水害の危機
Pm01	14:00～14:15	旧歩兵第16聯隊白壁兵舎の基礎構造と建物の変形
Pm02	14:15～14:30	世界遺産「富岡製糸場」の構造物基礎と地盤について：測量成果からの考察
Pm03	14:30～14:45	我が国近代初頭における海上砲台築造技術の変遷—台場から海堡へ—
Pm04	14:45～15:00	神奈川台場建設技術に関する一考察
Pm05	15:00～15:15	東京湾第二海堡における護岸法面の断面と建設順序の再検討
休憩	15:15～15:30	
Pm06	15:30～15:45	東京湾第二海堡にみられる石材と骨材—岩石学的特徴と原産地の探求—
Pm07	15:45～16:00	歴史遺産における伊豆半島真鶴産石材の利用について
ディスカッション準備	16:00～16:15	
ディスカッション	16:15～16:55	シンポジウムのまとめと今後の歴史遺産研究の在り方について
閉会挨拶	16:55～17:00	

個別発表は、発表10分 質疑5分=計15分

3

ホームページ作成とWEBによるプレプリの事前公開

ダウンロード可能なプレプリ

「歴史遺産の地盤工学研究に関するシンポジウム」論文募集と参加のご案内

主催：地盤工学会関東支部
歴史遺産の地盤工学研究に関する研究委員会
後援：国土交通省関東地方整備局
東京都文京区

関東支部では平成28年7月から3年間にわたり上記研究委員会(委員長 太田秀樹)を立ち上げ、地盤工学遺産情報の集積と広報、地盤工学の技術的な調査・研究、土木史跡のデータベース化と保存・修復の研究、資料保存に繋げる体験の普及、海外の地盤工学学会との歴史遺産研究分野での連携まで、多面的に検討してきました。この委員会の成果広報を兼ねて、下記のとおりシンポジウムを開催いたします。

論文募集は、研究委員会メンバーからの論文報告以外に、関東支部のみならず全国の会員ならびに非会員諸氏からの新しい論文投稿と、送附当日Discussionを歓迎しています。シンポジウム参加の希望者は下記の関東支部までお申し込みください。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

*大型の台風の影響が予測されており、参加者の安全を考慮いたしました結果、やむなく中止とさせていただきます。天候の移りかえり、皆様にご迷惑をおかけいたしますこと、お詫言申し上げます。

【日時】	2019年10月12日(土) 10:00～17:00 中止
【会場】	中央大学駿河台記念館 2階261号室 館内マップ<https://www.chuo-u.ac.jp/campusmap/sunagadai/floormap/> 東京都千代田区神田駿河台3-11-5 TEL03-3292-3111 アクセスマップ<https://www.chuo-u.ac.jp/access/sunagadai/>
【参加費・投稿費】	無料
【定員】	200名(定員になり次第参加の切りをいたします)
【G-CPD】	6.0
【詳細はこちら】	プログラムを公開いたしました
【参加申し込みフォーム】	「参加者の氏名、勤務先、住所、電話番号、会員・非会員及び会員番号」を左記「参加申し込みフォーム」よりお申し込みをお願いします。
【問合せ】	地盤工学会関東支部 歴史遺産の地盤工学研究に関する研究委員会 TEL:03-3946-8670 FAX:03-3946-8699 E-mail:kantorekishi@jban.or.jp

発表番号	発表時間	論文題目	発表者	備考
開会挨拶	10:00-10:05	太田委員長	太田秀樹	
委員会報告	10:05-10:35	地盤部会報告	地盤部会	
委員会報告	10:35-11:05	水害部会報告(空撮ビデオ映像による報告)	水害部会	
Am01	11:05-11:20	横浜市登録史跡「田谷の洞窟」の多分野統合型保存活動と地域づくり	○田村雅彦 小口幸樹 山本誠 藤井浩一 藤井浩一	横浜市中央区田谷町にある横浜市登録史跡「田谷の洞窟」(旧・金屋570m3製練の地蔵堂)は、約300年の歴史があり、洞窟の内部には「田谷の洞窟(田谷・田谷)」や「田谷十八番地蔵」の写し像などがある。現在、外国人の参拝や写真撮影等による劣化、多岐にわたる劣化の要因がある。また、近年発見された天明浅間噴火・寛保二年水害関連資料を基礎とした多分野統合型保存活動を実施している。また、近年発見された天明浅間噴火・寛保二年水害関連資料を基礎とした多分野統合型保存活動を実施している。また、近年発見された天明浅間噴火・寛保二年水害関連資料を基礎とした多分野統合型保存活動を実施している。
Am02	11:20-11:35	貝山下埋の地質と3次元点群データで確認できた内部構造	○中山雄二、山口淳治、小林健治、西野	神奈川県武蔵野市の山崎神社境内にある貝山下埋(貝山)は、約300年前に築かれた石造物で、その内部構造は不明である。近年、3次元点群データを用いた内部構造の調査が行われ、内部構造が明らかになった。本発表では、3次元点群データを用いた内部構造の調査結果について報告する。
Am03	11:35-11:50	関東及び周辺地域における災害石造物・伝承・祭祀施設等の調査研究と課題	大聖真人	災害石造物とは、その被害の犠牲者である人々の思いを込めて築かれた石造物や伝承、あるいは祭祀施設等を指す。近年では、災害石造物の調査研究が進んでいる。本発表では、関東及び周辺地域における災害石造物の調査研究の現状と課題について報告する。
Am04	11:50-12:05	近年発見された天明浅間噴火・寛保二年水害関連資料の解説と市民との連携について	小宮雪晴 藤田浩一 大聖真人	くすし、近年発見された天明浅間噴火・寛保二年水害関連資料の解説と市民との連携について報告する。近年発見された天明浅間噴火・寛保二年水害関連資料の解説と市民との連携について報告する。
講演	13:00-14:00	歴史に学ぶ、今迫りくる大水害の危機	王聖賢行	講義からシンポジウムへ海外から導入された技術を用いて建設された構造物の劣化と維持管理の現状について報告する。また、近年発見された天明浅間噴火・寛保二年水害関連資料の解説と市民との連携について報告する。
Am05	14:00-14:15	旧歩兵第16聯隊白壁兵舎の基礎構造と建物の変形	○正樹 孝輔 中川剛 雄太	講義からシンポジウムへ海外から導入された技術を用いて建設された構造物の劣化と維持管理の現状について報告する。また、近年発見された天明浅間噴火・寛保二年水害関連資料の解説と市民との連携について報告する。
Am06	14:15-14:30	世界遺産「富岡製糸場」の構造物基礎と地盤について：測量成果からの考察	○藤井浩一 山本誠	世界遺産「富岡製糸場」の構造物基礎と地盤について、測量成果からの考察について報告する。世界遺産「富岡製糸場」の構造物基礎と地盤について、測量成果からの考察について報告する。
Am07	14:30-14:45	我が国近代初頭における海上砲台築造技術の変遷—台場から海堡へ—	山口孝俊	1854年(安政)のペリー参艦以来、江戸幕府は幕府の海外防衛体制を固めた。江戸幕府の海外防衛体制を固めた。江戸幕府は幕府の海外防衛体制を固めた。江戸幕府は幕府の海外防衛体制を固めた。
Am08	14:45-15:00	神奈川台場建設技術に関する一考察	山口孝俊	神奈川台場建設技術に関する一考察について報告する。神奈川台場建設技術に関する一考察について報告する。
休憩	15:15-15:30			
Am09	15:30-15:45	東京湾第二海堡にみられる石材と骨材—岩石学的特徴と原産地の探求—	山本 哲哉	東京湾第二海堡にみられる石材と骨材の岩石学的特徴と原産地の探求について報告する。東京湾第二海堡にみられる石材と骨材の岩石学的特徴と原産地の探求について報告する。
Am10	15:45-16:00	歴史遺産における伊豆半島真鶴産石材の利用について	坂元 秀平	石材としての真鶴産石材について、江戸時代以降の歴史を中心に、各地より石材が輸入されている。真鶴産石材の歴史を中心に、各地より石材が輸入されている。真鶴産石材の歴史を中心に、各地より石材が輸入されている。

4

ホームページへのプレプリ等の事前公開

- ▶ その趣旨は？
- ▶ 単なる成果報告会ではない！→**成果普及（査読なし）**
- ▶ 成果の一般普及を考えた！→**投稿・参加費をとらない、会場費27万は委員会持出（JICEの研究費）**
- ▶ 学会以外の非会員も対象としたシンポジウム+講演会としようとしていた！
→**投稿・参加費をとらない**
- ▶ 投稿原稿締切り期限に遅れた投稿者が発生→DVDの作成時間が足りなくなり断念

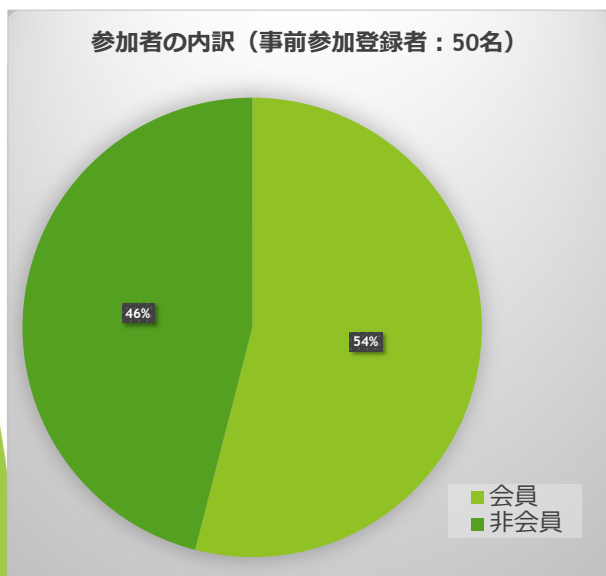
ストーリー性をもったプログラム構成の構築・選定・依頼

- ①地盤工学会へのフォロワーを増やす！
- ②土木構造物へ興味を抱き理解するフォロワーを増やす！
- ③一般の人に、災害対策等への理解を深めてもらう！

5

参加予定者の内訳

参加者の内訳（事前参加登録者：50名）



当日、未登録による参加も認めているため最終参加者数は不明（ただし、非登録者の口頭による参加表明者が、確認できただけで20～30名ほどいた）

FBでの「いいね」120以上
シェア、5か所ほど

事前登録者をもっと増やす方法の模索が必要！

6

2019年10月12日に歴史遺産委員会シンポジウムを、国土交通省関東地方整備局、文京区の後援を受け行う予定だった！

台風19号により中止！



今後のために経緯と手順、反省点を公表しておく必要がある！

7

シンポジウム・講演会の中止の経緯と手順

- ▶ 7日19:11より 天候（台風情報）に関する情報収集開始！（幹事）
- ▶ 8日16:46 越智水害部会長から12日の台風への対応検討の依頼メール
同日に対応方針や、対応手順、広報内容を幹事が検討→翌日委員長へメール及び電話
- ▶ 9日8:44 対応手順及び広報文面について内容を委員長・越智、正垣 両部会長、事務局へメール確認

太田先生（CC越智部会長、正垣部会長）

台風対策で、下記のような手順を考えております。

※台風の通過前

- ① 10月11日の13：00段階で、開催するかどうか判断（11日に事前確認のため会場に行きますのでその時に相談。メールのあて先は、添付の通り。対応について事前通告が必要か？）
- ② 10月11日の15：00頃に、参加者及び発表者、委員会委員に開催もしくは中止の一斉メールを配布
- ③ 中止の場合は、FB等で、インフォメーションを出したサイトに対し中止に関する掲示
- ④ 後援者の国土交通省及び文京区に中止の場合にはその旨の通知（役割分担、依頼、電話連絡？）
- ⑤ 連絡が取れず、当日会場に来てしまった人のための通知（会場に掲示が必要か？、だれが説明する人が行く必要があるか？幹事大里が対応？）

※台風通過後

- ⑥ 中止された場合、各発表者に当日発表する予定だったPPTの提出を依頼。
 - ⑦ 当日発表する予定のPPTをHPにアップする。
- 【中止の場合の配布メール及び各通知したサイトへの掲示文面】→事前に文面を作成し委員長部会長に確認

8

- ▶ 9日10:42 太田委員長より会場となる駿河台記念館の対応及び会場使用料金に関する確認事項および幹事より連絡を行った対応方針、対応手順、広報内容に関しての了承のメール連絡
- ▶ 9日20:38 発表者、参加者、委員会委員、講演者、後援機関、SNS・掲示板等へ12日の対応方針と方法について事前通知方法の連絡

歴史遺産委員会シンポジウムへ参加される皆様へ【bccにて送信しております】

【連絡予告】

歴史遺産委員会シンポジウムに発表参加いただきありがとうございます。
ご承知おきの通り、現在台風19号が関東地方に接近しており、シンポジウムの開催が予定されている10月12日に会場となる神田駿河台付近も暴風圏に入る可能性があります。

このため、参加者の安全や交通機関の運行状況等を考慮したシンポジウム開催に関する対応が求められますが、その判断を10月11日15:00頃に行うことと事務局内で決定いたしました。

誠に申し訳ありませんが、歴史遺産委員会シンポジウムの開催可否については10月11日15:00頃に改めてメールにてお知らせいたしますので、11日15:00以降にメールの確認をお願いいたします。

なおシンポジウムが中止となった場合は、代替会場の確保も難しいため、発表予定のpptをシンポジウムホームページにて公表したいと考えておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

地盤工学会歴史遺産委員会委員長

太田秀樹

地盤工学会関東支部歴史遺産委員会幹事

大里重人

9

- ▶ **10日**：意見受付期間として、予告広報をSNS等で公開していた各ページ及びホームページに公開＋発表者＋参加者＋研究グループ委員会Gリーダー幹事に通知＋後援機関からの確認待ち 及び天候に関する経緯引き続き情報収集
- ▶ **同日**：12日における交通機関の計画運休の情報が入り始める。（12日 13:00にJR運休開始）
- ▶ 11日 13:00 会場駿河台記念館にて、委員長、幹事、一部委員により現地確認と12日の中止決定を確認
- ▶ 11日 13:19 発表者、参加者、講演者へシンポジウム中止のメール配信
追って 委員会委員、研究会グループリーダー幹事、後援機関、SNS・掲示板等へ中止を連絡及び広報

※12日 シンポジウム・講演会の中止

当初検討していた 交通機関途絶のため、現地での幹事による広報活動も中止



**現在、後処理調整中（災害対応で時間が取れない人もいる）
・全般の対応や広報体制に関しての反省点について分析中**

10

中止に関するお知らせ

歴史遺産シンポジウム中止のお知らせ

<http://www.jgskantou.sakura.ne.jp/event/abstract.htm>

参加者及び発表者の皆さま

10月12日に、中央大学駿河台記念館で開催する予定でした歴史遺産シンポジウムですが、台風19号による影響(計画運休に伴う交通機関の途絶など)を考慮し、大変残念ですが中止することになりました。

台風による影響のため、このような対応をとらざるおえなくなったこととお詫びいたします。なお、**当日発表される予定でしたPPTについては、後日ホームページ上に公開する予定です。**

地盤工学会関東支部歴史遺産委員会委員長 太田秀樹

**一般来場予定者のニーズがある！
当日、どんな話をするはずだったか知りたい・・・
委員会として、次回の開催にフォローをつなげたい！
ペーパーレス化の流れへの対応 など**

最後に